

# あばばい～伊勢志摩国立公園 学生部会

- ・わかめの振る舞いボランティア (鳥羽市) 参加
- ・インスタタミート伊勢志摩国立公園 (鳥羽市、志摩市) 参加
- ・Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園イベント(おかげ横丁はいかにさん) 参加
- ・評価会(志摩市) 参加
- ・植樹祭とエコツア(鳥羽市)参加
- ・涌井塾 参加
- ・鳥羽市内まちあるきマップ(英語版)作成 会議
- ・鳥羽市内まちあるきマップ(英語版)作成 会議
- ・山の日イベント参加
- ・農家民宿てんぷな(南伊勢町)に宿泊し、山の日イベントの資料作り
- ・「私が思う伊勢志摩国立公園の魅力」について動画作成 会議

2017 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1

## ◆今年度の活動を振り返って (成果と課題)

**今年度は新体制になり、一からのスタートだったので、県の方やコンベンションの方たちと何度も会議を行なった。**メンバー同士でもどのような活動にしていけばよいのかしっかりと考えることができたので、全員のモチベーションや意識を高めることができたと思う。普段経験することができない資料作りやマップ作りなどにも参加させていただき、伊勢志摩国立公園の魅力が改めて知ることができた。マップ作りでは外国の方も一緒に会議に参加していたので、外国の方から見た鳥羽市の魅力について知ることができた。アイデアを生み出すことは大変だったが、鳥羽市について真剣に考え、私達自身も新しい魅力を発見できる活動だったと思う。また、山の日や植樹祭などのイベントでは、伊勢志摩国立公園域外の方たちとかかわる機会が多く、地元の方以外にも魅力を感じてくれている人がいることを実感した。また、自分が感じた魅力や良さをSNSで発信することによって多くの人に伊勢志摩国立公園を知ってもらいきっかけを作ることができて良かった。

今年度は行政の方たちと活動することが多かったため、行政が伊勢志摩国立公園をどうPRしていきたいのかを知ることができた。特に今話題になっているインバウンドに向けてのPRや取り組みについて、活動やイベントを通して知ることができた。また、今年度は実践的な活動が多く、様々な分野や角度から伊勢志摩国立公園について学べたので、充実度の高い一年だったと思う。

今後の課題は、あばばいに入ってくれた後輩たちに伊勢志摩国立公園の歴史や文化、魅力などを伝え、引き継ぎを完了する。そして、新しいメンバーを増やし、活動しやすい環境を作る。

## 特にアピールしたいポイント

「あばばい 伊勢志摩国立公園 学生支部」は、伊勢志摩国立公園に興味があり、実際の活動を通して知りたい人・PRしたい人にオススメです。活動やイベントに積極的に参加しているので、充実度の高い活動だと思います。また、学生が県や市・地域の方と直接連絡を取り合っているため、主体的に活動を行うことができます。



## 実施主体様の声

居住人口の多い伊勢志摩国立公園を守っていくには、規制だけではなく、そこに暮らす人々自身の意識が大切であり、地域の学生が伊勢志摩国立公園の大切さを伝える活動に関わってくれたのは、大変意義深いことだと思います。国立公園指定70周年を機に結成された「学生部会あばばい」が、引き続き共に活動してくれることを願っています。

**(三重県庁 みどり共生推進課様より)**  
今年度も伊勢志摩地域に多大な貢献をされましたことに感謝申し上げます。これからも伊勢志摩国立公園を盛り上げ、皆さまの「あばばい」という活動部会のようにまぶしくまた、輝かしい地域活動にご尽力ください。ご活躍を祈念いたします。  
**(公益社団法人 伊勢志摩観光コンベンション機構様より)**



活動実施主体: 三重県庁 みどり共生推進課・公益社団法人 伊勢志摩コンベンション機構  
担当教員: 板井 正斉 (教育開発センター)